

よいや～の風によって



令和8年5月18日(月) No.11 校長 東原 宏章

「生きていくための礎」

本校には、以下の11の委員会があります。

- ①運営 ②保健 ③運動 ④給食 ⑤広報掲示
- ⑥栽培飼育 ⑦図書 ⑧放送 ⑨生活
- ⑩人権平和 ⑪環境



「給食委員会・ロング・振り返り活動」

これらの委員会には、5・6年生の全児童がいずれかに所属し、学校生活をより良くするための自治的な活動を展開しています。

活動形態は、月1回・45 分間の「ロング活動」と、休み時間などに行う「常時活動」の2つに分けられます。



「栽培飼育委員会・常時・めだか池清掃」

「ロング活動」では、前月までの活動を振り返り、課題に対する改善策を話し合います。話し合いのあと、実際に作業に移ることもあります。

一方、「常時活動」では、日々の当番活動などを通して、自分たちの役割を一つ一つ積み重ねていきます。

「ロング」で計画・改善し、「常時」で実践する。このサイクルを繰り返すなかで、子どもたちは「皆のために役立っている自分」を実感し、それを大きな喜びや自信へと繋げていきます。

小学校を一つの「小さな社会」と捉えたと、ここで学んだ経験は、将来大人になって実社会で生きていくための礎になるはずです。委員会活動での学びは、子どもたちにとって極めて貴重で、価値あるものと言えるでしょう。

よいや～の風にのって



令和8年5月21日(木) No.12 校長 東原 宏章

「たくましく」

5月20日(水)に運動会の予行練習を行いました。薄曇りと快晴を交互に繰り返す天候の下、約90分間の全校練習でした。大きく体調を崩す子どもも、大怪我をする子どもも出すことなく終えることができました。校長として、ほっと胸をなでおろしました。

運動会の練習が本格化した連休明けのころ、昼休みに運動場で遊んでいる子どもの数は100人を切っていました。しかし、その数は日を重ねるごとに徐々に増えていったのです。

驚いたのは、予行練習を終えたこの日の昼休みのことでした。



さきほどまで厳しい練習をしていたにもかかわらず、青空の下、なんと240人を超える子どもた

ちが運動場に飛び出して活動していたのです。
本校の全児童数は 376 人ですから、約 7 割の
子どもたちが外で過ごしていたことになります。



元気に遊んだり、リレーの練習をしたりする子
どもたちの姿を見渡しながら、思わず、「たくまし
くなったね。」とつぶやいていました。

よいや～の風によって



令和8年5月29日(金) No.13 校長 東原 宏章

「運動会」

保護者の皆様、地域の皆様、来賓の皆様、心温まる応援、誠にありがとうございました。

1年生から6年生まで、練習を通して学んだことを存分に発揮できた運動会だったと捉えています。ご参観くださった皆様には、学年が上がるほど、スピード感と巧みさが増す競技や演技に、子どもたちの確かな成長の歩みを見ていただけたのではないかと思います。



5年生

特に、5年生による気迫あふれる「ソーラン節」の演舞や、6年生が披露した「魂叫び」の気高く、圧倒するほどの熱量には、会場全体が息をのむように静まり返りました。高学年としての立派な姿は、低学年の子どもたちにとって憧れの存在となったはずです。



また、開会式での1年生のはつらつとした挨拶や、閉会式での6年生の「全校の頑張りを称える温かい言葉」も、この運動会の目的や意義をより鮮やかに、より深いものにしてくれました。



今年度の本校のテーマは「楽しい学校をつくらう」です。運動会当日だけでなく、積み重ねた練習の中で、子ども一人一人の心の中に「楽しい」が一つ増えたのであれば、これほど嬉しいことはありません。

最後になりましたが、PTA 本部を中心として、準備・運営・後片付けまでご協力くださった保護者の皆様や、駐車場として活用した近隣公園での車の誘導などに携わってくださった地域の皆様に心からお礼申し上げます。

よいや～の風にのって



令和8年6月1日(月) No.14 校長 東原 宏章

「5月のおわりに」

5月29日(金)、5月のおわりとなるこの日。日差しは強めでしたが、からっとした心地よい風が校庭を吹きぬけ、思いのほか過ごしやすい1日でした。今回は、この日の子どもたちの様子を紹介します。

5・6年生の子どもたちがプール清掃をしてくれました。プールサイドやプールの底には1年間の泥や砂などが溜まっていましたが、清掃後は見違えるほどに青く輝いていました。



プール横のキャベツ畑では3年生がモンシロチョウの幼虫探しをしていました。これからの理科の学習で、幼虫の成長を観察・記録していくそうです。



運動場では3年生が大きなビニール袋に空気を集めていました。走り回っている子どももいました。

「何の学習ですか？」

と尋ねると、

「図工の学習です。」

と答えてくれました。

『空気って形がないけど、入れ物によって形が変わるね。』ということを体全体で感じ取っているようでした。



2年生が育てているミニトマトやキュウリは、苗を植えたときの5～10倍くらいの背丈になっています。毎日続けてきた水やりの成果です。



よいや～の風によって



令和8年6月5日(金) No.15 校長 東原 宏章

「学校とはどんなところ？」

2年生の子どもに、次のような質問をしました。

「学校とはどんなところですか？」

すると、ある子どもから思わぬ答えが返ってきました。

「病院みたいなところですよ。」

予想していなかった答えに、私はさらに聞いてみました。

「どうしてそう思ったの？」

「だって、歯や耳や目の検査があるから。」

なるほど、確かにそのとおりです。大人が思いつかないような、子どもの着眼点の豊かさにはい

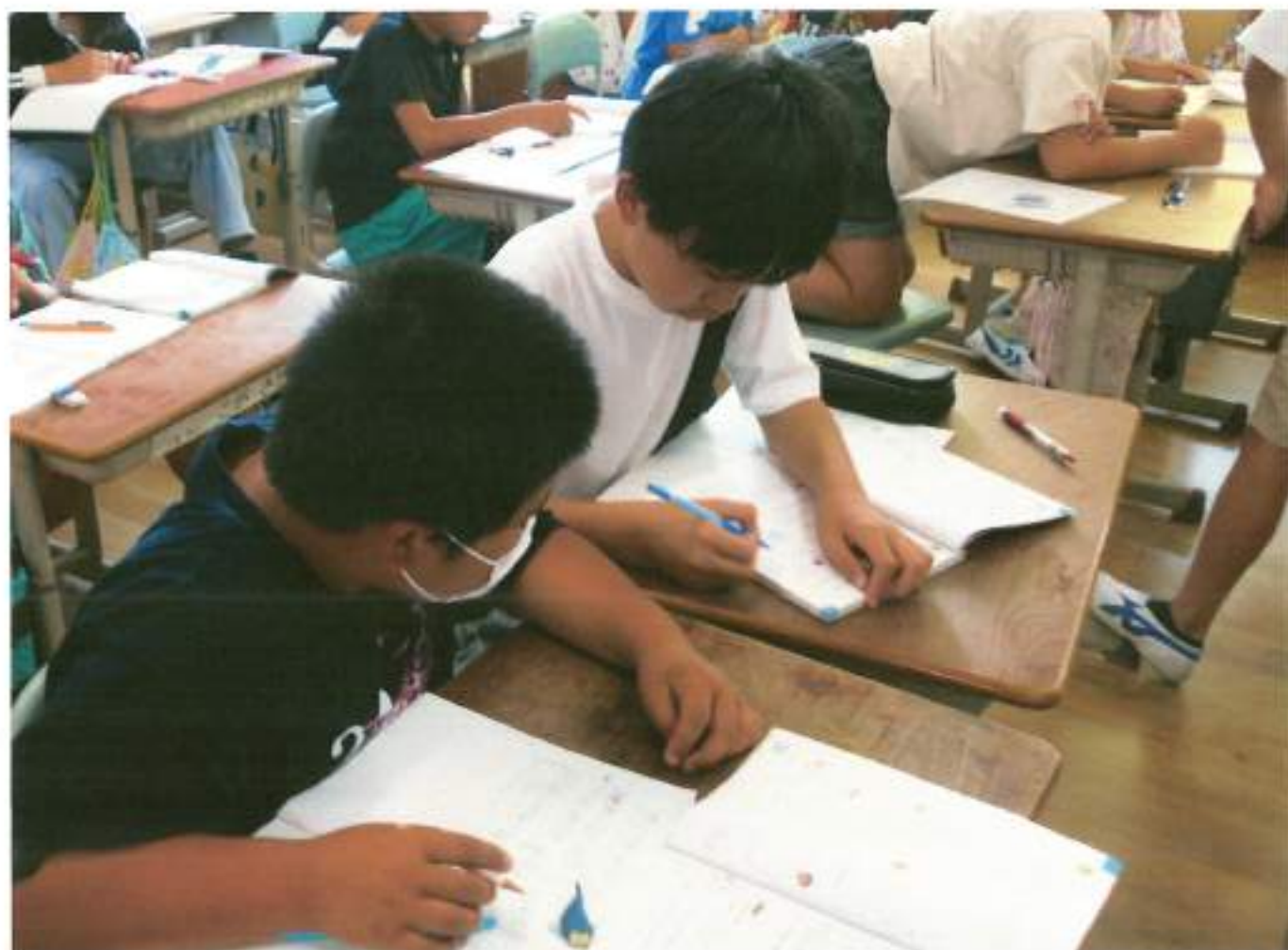
つも驚かされます。



(画像:2年生の歯科検診の様子)

※プライバシー保護のため画質を落としています。

もちろん、学校は健康診断だけでなく、大切な「学びの場」でもあります。



(画像:6年生の算数授業の様子)

上の画像は二人の子どもが解決方法を説明し合っているところです。

学校だよりNo.5でもお知らせしましたとおり、本校では今年度から、算数科の授業を中心に子どもの「思考力・判断力・表現力」を高めていく研究に取り組んでいます。

今年度から、保護者の皆様にもお答えいただいている「学校評価アンケート」の項目が一部改定されます。この変更は長崎市のすべての学校が対象です。変更内容は次のとおりです。

【改定内容】

「学習指導・家庭学習」の質問内容の変更

《変更前》

- ・わかりやすい授業を行っている。
(児童生徒・保護者・教職員共通)

《変更後》

- ・児童生徒：授業の中で、よく考えたり、表現したりして、進んで課題に取り組んでいる。
- ・保護者：学校は、わかりやすい授業を行っている。
- ・教師：子どもが主体的に学習に取り組み、自ら考え・判断・表現する力を育む授業を展開している。

自分の思いをわかりやすく伝える力は、時代が変わっても求められる大切な力です。

学校は、体を健やかに育む「病院のようなところ」であり、心を豊かに通わせる「学びの場」でもあります。

子どもたちが「今日もよく考え、たくさん表現できた!」と実感できる、そんな学校でありたいと考えています。

よいや～の風にのって



令和8年6月8日（月）No.16 校長 東原 宏章

「ありがとうございます」

6月7日（日）の午前中、2年生の「いもさし（6月8日（月）実施）」のための準備作業が行われました。雨が降りしきる中、高城台自治会の皆様が準備作業を行ってくださいました。今回の準備作業は、以下の手順で進められました。

- ・畝に黒色の防草シートを張る。
- ・防草シートを固定する。
- ・シートに芋のつるを植えるための穴を開ける。





本校の教職員も参加して、約1時間で作業は

終了しました。

実は、この日曜日の準備作業より前に、高城台自治会の皆さんは、

- ・除草作業
- ・土づくり
- ・畝づくり
- ・芋のつる（苗）の準備

などの作業をすでに済ませてくださっていました。数日間もかかる大変な作業を、子どもたちのために黙々と進めてくださった皆さんに、心から頭が下がる思いです。ありがとうございました。

翌日の6月8日（月）午前9時から、2年生による「いもさし」が行われました。

子どもたちは、高城台自治会の皆さんにアドバイスをいただきながら、芋のつるを一本一本、丁寧に土に差し込んでいきました。



「秋が楽しみです!」

「焼き芋もしたいな。」

2年生の子どもたちは、口々にこれからの期待や思いを話してくれました。

子どもたちの弾けるような笑顔を目の当たりにして、高城台の自治会長さんは次のように優しく話してくださいました。

「準備や管理は大変だけど、子どもたちの喜ぶ顔を見ることが出来るから、頑張れるんだよ。」

作業を終えた子どもたちは、高城台自治体の皆さんに大きな声で、

「ありがとうございました。」

とお礼を言って、芋畑を後にしました。

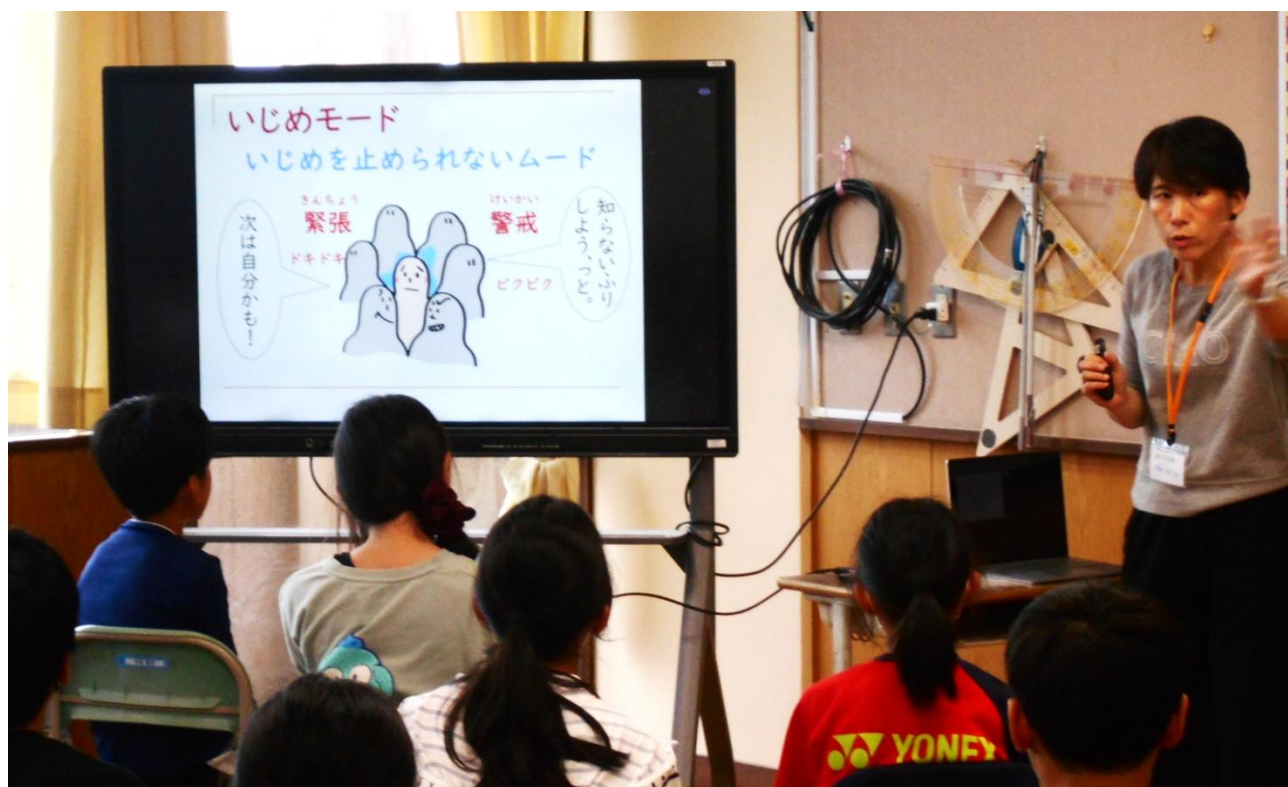
よいや～の風によって



令和8年6月16日(火) No.17 校長 東原 宏章

「勇気とは」

6月9日(火)、6年生の各教室で「いじめ防止子どもワークショップ」の学習活動が展開されました。ワークショップを進行してくださったのは、「子どもの人権アクション長崎(あじじの会)」の3名のファシリテーターの皆さんでした。



今回のワークショップのテーマは、「どのようにしていじめを防止するか」でした。

子どもたちは、いくつかの体験活動を通して、いじめを防止するために、自分に何ができるかということを学んでいきました。

体験活動の一つを紹介します。子どもたちはファシリテーターの方の指示に従って次のような活動を進めていきました。

子どもたちは輪になって内向きになり、1本の太く



長い毛糸をそれぞれの片手で持ちました。子どもたちに支えられた1本の毛糸の輪ができました。

持つといっても、毛糸を握りしめるのではなく、親指と人差し指で輪を作って、その輪に毛糸を通しました。毛糸を保持している片手を動かしても、自由に動かせる状態でした。毛糸は子どもの手と手の間でカーブを描いてたるんでいました。

その状態を確認したファシリテーターの方は、次のように話し始めました。

「今は、皆が安心して学級で過ごしている状態です。それをたるんだ毛糸が表しています。しかし、学級の中でいじめが起こっているかもしれないということに、あなたが気づき始めたとします。『嫌だなあ、次は自分かもしれない、どうにかしたいなあ。』などと思う気持ちがあなたの心の中に湧き上がるかもしれませんね。『自分なら、確かにそのような感情が湧き上がるだろう。』と思う人は、毛糸を5本の指で握りしめてください。」



子どもたちは毛糸を握り始めました。子どもと子ども
の間にたるんでいた毛糸は、ぴーンと張り詰め始
めました。子どもが毛糸を動かそうとしても動かすこ
とができないほどになりました。

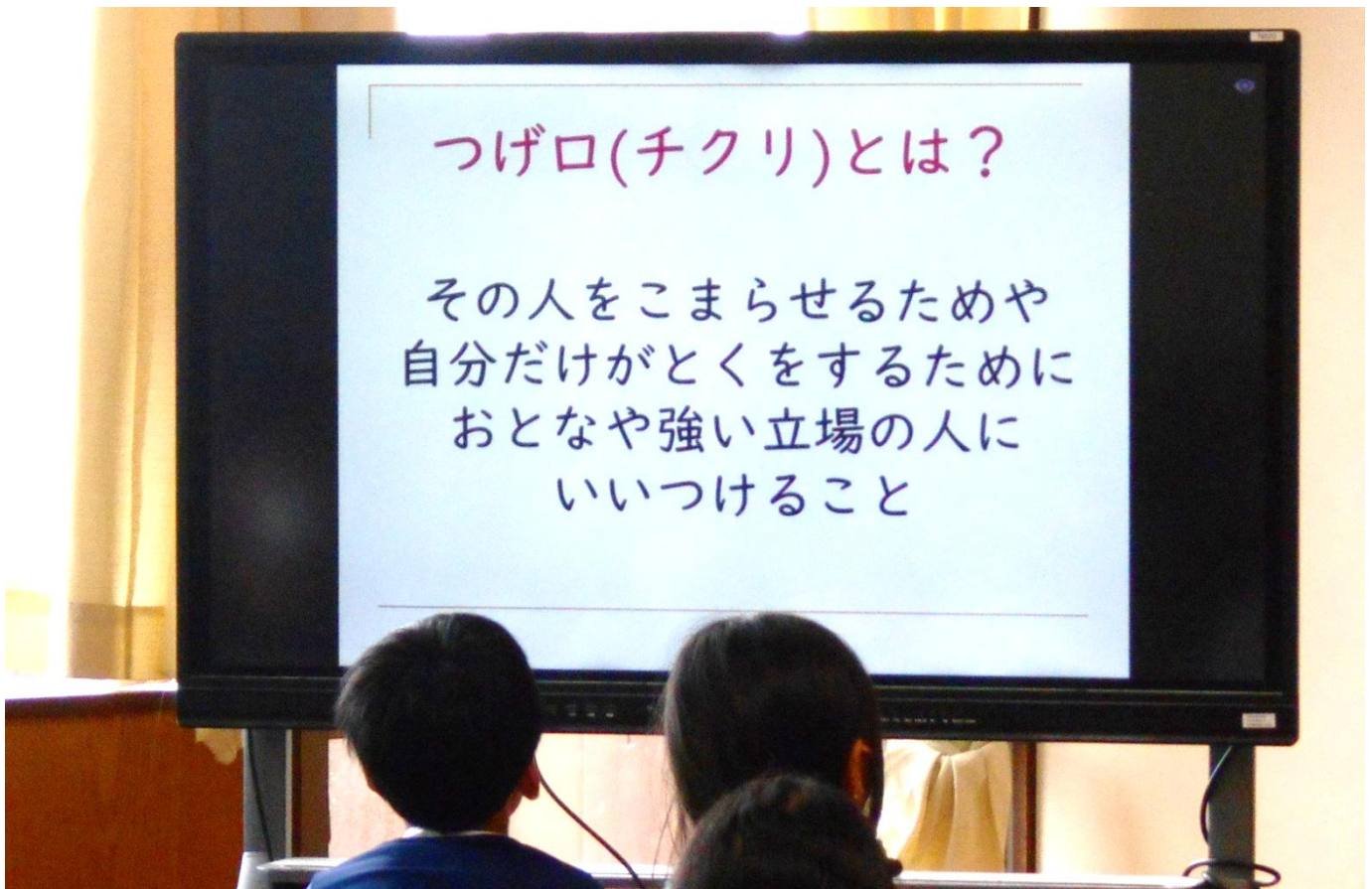
その状態を確かめたうえで、ファシリテーターの方
は次のように話しました。

「この毛糸がピンと張り詰めた状態は、『これはいじめかもしれない』ということに学級みんなが気づき、どうにかしたいと思いつつも、どうにもできない緊張状態」を表しています。一人が毛糸を動かそうと思っても、毛糸が動かなかったように、いじめかもしれないと思って、誰かが行動しようと思っても、それは一人でできるものではありません。何人かの人が勇気を出して立ち上がる必要があります。」と話してくださいました。

子どもたちは背筋を伸ばし、実に真剣な表情で話を聞いていました。



45分間のワークショップの中で、いくつかの体験活動が展開されました。その中で印象に残ったファシリテーターの方の言葉があったので、最後に紹介します。



「チクリと相談は違います。チクリは自分のために行うことであって、相談は他者を助けるために行うことです。皆さんにはこれを区別できる人になってほしいと願っています。」

勇気の素になる大切な考え方をお話してくださいました。

子どもたちにとって、「勇気とは何か」について考える有意義な 45 分間でした。

よいや～の風によって



令和8年6月17日(水) No.18 校長 東原 宏章

「梅雨の晴れ間に」

昨日(6月16日(火))、1年生の学校探検がありました。2年生と1年生がペアになり、2年生が1年生を案内する計画になっていました。

探検出発直前、1年生教室では、担任による「気をつけること」の説明と探検準備があっていました。担任が、「学校の地図を配りますよ。」と話すと、子どもたちは、「ええっ!地図!」と目を輝かせていました。



2年生教室では、担任が「注意点」を話していました。子どもたちは、任せてください!と言わんばかりに目を見開いて、担任の話に聞き入っていました。



探検場所の一つが校長室でした。



校長室に入ってきた1年生と私の間で、次のようなやりとりがありました。

「好きな食べ物は何ですか？」

→さんまの塩焼きです。

「さんまって何ですか？」

→さんまというお魚の名前です。さんまは細長い魚です。

「塩焼きって何ですか？」

→魚に塩をつけて焼いて食べる料理のことです。

「飾ってある写真のおじさんたちは誰ですか？」

→これまでの5人の校長先生です。

「飾ってあるトロフィーは何ですか。」

→前の6年生が他の学校の6年生とサッカーやバスケットやかけっこなどをして優勝した時にもらったものです。

「どうして、パソコンが3台もあるのですか。」

→仕事によって使い分けているからです。

「お金持ちですね。」

→いえいえ、教育委員会というところから借りている物です。校長先生のものではありません。

本日（6月17日（水））、お昼になって雨が上がると、休み時間には待ってましたとばかりに、子どもたちが運動場に飛び出してきました。

リレーに取り組む子ども、ボール遊びに興じる子ども。



6年2組と3組は合同全員あそび（けいどろ）を楽しんでいました。（1組は、全員あそびの日ではなか

ったようです。)



昼休み終了の放送が流れると、子どもたちは、すぐに遊びをやめて教室に向かっていました。

湿度48%。爽やかな風が吹いていました。